

●今月の法語カレンダー●  
南無阿彌陀仏をとなうれば  
この世の利益 きわもなし

「南無阿彌陀仏をとなえる」ことで、厄が除けられたり願いが叶ったりするわけにはありません。私たちは生老病死にはじまる苦しみに必ずあつていかなければいけません。親鸞聖人は『教行信証』の中に、お念仏の人がこの世で受けることのできる十種の利益を示されました。「仏がたが常に護ってくくださる」「心によるこびが多い」「必ずさとりを開いて仏になることが決定している」等と説かれます。私自身の心が、そして生き方が変えられていくことが利益であると知らせていただきます。

4月の行事

- 朝の日曜礼拝 午前7時  
お参り・御文章・7分法話  
5/12/19/26日
- 仏教講座会  
20日(月) 午後1時半  
【講師】大江宏玄師(東京)
- 写経会  
20日(月) 午前11時
- 納骨堂合同参拝  
4日(土) 午前10時
- れんげ会総会(仏教婦人)

- 10日(金) 午前11時
- 仏教壮年会
- 25日(土) 午後3時
- ボラン寺(寺報送作業)
- 30日(木) 午前9時
- 「ふれあい農園」子ども会
- 19日(日) 午前9時
- 雅楽教室  
(龍笛・箏・笙のお稽古)
- 19日(日) 午後3時
- ヨーガ教室 午後12時半
- 8/22日(水)

# 仏教講座会のご案内

いのちいっぱい輝き出す春となりました。  
阿彌陀さまのお徳を聞かせていただき、ともに尊いのちを生かされる感謝を新たに、お参り致しましょう。  
あたたかな日よりとなりますので、ぜひお寺へ足を運んで下さい。

【日時】 4月20日(月) 午後1時半～3時半  
【次第】 お参り・ご法話・茶話会  
【講師】 大江宏玄師  
(本願寺派布教使・東京都練馬区敬覺寺副住職)

ご講師は、若住職の京都時代よりの先輩で、現在も大変お世話になっています。東京教区で評判の若手布教使さんです。ぜひお聴聞ください。  
午前11時より「写経会」があります。こちらにもご参加お待ちしております。

- 千葉組「壮年会」発会式  
18日(土) 築地本願寺

5月の行事

- 永代経法要  
門信徒会総会 17日(日)
- 千葉組親鸞聖大遠忌法要  
31日(日) 千葉文化センター
- 納骨堂合同参拝 2日(土)
- れんげ会 8日(金)
- 仏教壮年会 23日(土)
- ボラン寺 29日(金)
- 雅楽 16/30日(土)
- ヨーガ 13/27日(水)
- 写経会 お休み

行事はすべて参加自由です  
どうぞお参りください

## 春のお花見茶会

【日時】  
4月5日(日)  
午前8時半～10時半  
(午前7時～のお昼朝後)

春本番。もうお花見は楽しめましたか。



お寺では4月5日(日)お昼朝の後、午前8時半～10時半までの予定で、壮年会の小林繁夫さん(市川東菅野)が「春のお花見茶会」を開いてくださることとなりました。

あたたかくなり、色とりどりのお花が咲き始める華やかな季節です。ゆったり一服のお茶をいただき、美味しいお菓子とともに、和やかな時間を過ごしましょう。

どなたでもご参加いただけます。気軽な集まりですので、服装等の気遣いは必要ありません。持ち物もありませんので、ぜひぶらりとお立ち寄りください。足の痛い方には、椅子の準備もありますので、ご心配なく。皆さまのお越しをお待ちしております♪

### 住職の独り言

「言葉」(仏の相)

最近は何でも言葉を省略する。ワンプログ・キムタク…。私のように歳をとった者も負けてはいない！話の途中で言葉が思い出せなくなると「ホラ、アレ、あれよく、ね、わかるでしょ」そんなの分かんないって！いくら何でもそこまで省略されちゃうと分かりません。人それぞれに脳の形も違うのに「ね、分かるでしょ！」と言われても分かりません！

人間はものを考える時、言葉を使って考える。言葉にならないものは考えたり、イメージ化したり出来ない。だからとりあえず名前をつけ、その言葉の中で思いを巡らす。  
おさとりの世界は本来言葉に出来ず、不可称・不可説・不可思議という。言葉に

出来ない世界を、私に分かるように阿彌陀と名乗り、お釈迦さまという人間の形を通して、「仏説無量寿経」という教説を通して私たちに分かるようにしてくださった。別な言い方をすれば私たちのレベルに降りてきてくださり、私を救ってくださる仏の相であります。



※天真寺ホームページ3月13日掲載

■若住職龍哉が3月13日(金)～15日(日)まで、築地本願寺の常例法座の講師をつとめました。これ二度目のご縁となり、尊いお育てをいただきました。

■次男大悟が、無事中央仏教学院本科を皆勤で卒業しました。4月には教師教習を受けます。お世話になった方々にお礼申し上げます。





# 天真寺門信徒会旅行のご案内

6月3日(水)～4日(木)新緑の美しい季節、1泊2日で福島を巡り、大内宿おおうちじゆく(江戸時代の宿場村)と会津若松を訪れます。お寺までバス送迎があり、無理なくゆつくり楽しんでいただける行程ですので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。希望者は参加申し込み受付中です。旅行費用¥19000、定員25名です。



## 活動報告

**「ふれあい農園」子ども会**  
農園が春になり再スタート。畑の面積を拡大し、果樹や花壇コーナーもできました。19日(日)9時からは、子ども会！お子さん・お孫さんと種まき体験をしてみませんか。野菜を育てる喜びを一緒に味わいましょう。当日直接お寺にどうぞ、どなたでも参加可能です。



★春のお彼岸にはようこそお参りくださいました。教育カウンセラーの富田富士也先生にお話をいただきました。「あなたに『還る家』はありますか。人はこの世に評価されるために生まれてきたのではありません。力をしても報われないみじめな



## 「一枚の壁」

「人間とは何だろうか」と時折思うことがある。漢字で見れば「人の間」と書き、人と人の間を生きていることを教えてくれる。しかし、その間は見えにくく、知らぬ間に見えない壁を作ってしまうこともある。人間関係に悩むこともその壁の原因だろう。その壁が大きくなると、ベルリンの壁・万里の長城などの巨大なものとなる。今現在建設されている壁も存在する、それはイスラエルが建設しているイスラエルとパレスチナ居住区を分断する分離壁である。



私が3年前NGOの研修にて、現地で見分けた分離壁の高さは8メートル、コンクリートで作られた頑丈な壁、1キロの造成費2億円という巨大なものでした。イスラエルは、自爆テロ防止の「security wall」(安全を守るための壁)であると主張する。一方、パレスチナからいえば、

自分たちの生活地域を挟む分離壁となる。イスラエル・パレスチナのともに助け合って生きてきた人々の生活が分断されてしまった。その壁を一つで、仲間の命にさえ思いを寄せにくくなってしまった。昨年末からの戦争で「1300人以上の尊いいのちが奪われた」という。壁一つで尊いいのちも忘れさせてしまう。

私たちの心の壁はどれ位の高さだろうか。人間という意味を改めて考えさせられる現実である。(若住職 龍哉)

※「松戸ジャーナル」10周年号掲載

天真寺の墓地  
「大町やすらぎパーク」北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地。ご希望の方はお寺までご相談ください。特別区画残り約50区画。現在「永代合葬墓」を計画中。



## 天ちゃんの一言



お彼岸での富田先生のお話、私が心に残った言葉は、「最後は一緒で一処」。一緒とは頭の出来不出来、顔の善し悪し、お金の有る無しなど、気にするほどのことではない。一処とは「俱会一処」。みんな最後は阿弥陀さまのお浄土、往く処は同じですよということ。小さな悩みを吹き飛ばす、元氣をもらえる言葉です。(静香)

**門信徒会入会のご案内**  
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。

(発行元)

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作106

047-389-0808

【ホームページ】

<http://www.tenshin.or.jp>



★ハワイ本願寺参拝の旅  
9月5日(土)から6日間。「親鸞聖人750回大遠忌法要」に参拝します。詳細はお寺までお問い合わせください。